





自分たちでつくるクイズラリー

プログラムの概要・ねらい

施設内の地図を使って、クイズを解きながら周辺を回り、楽しみながら施設を覚え、環境に馴染むことができる。

自分たちでクイズ（問題）を考えるため、より主体的な発見と、グループ内でのコミュニケーションの活性化によりグループの結束が期待できる。

場所	施設内全域	   
時間	2時間～ 2時間30分	
値段	無料	
季節	年間	
人数	何人でも	
準備物 【利用者】問題用紙、解答用紙、筆記用具 季節に合わせた服装、救急用品 （クリップボードがあると便利） 【自然の家】特になし		

①準備

事前に問題用紙、解答用紙を必要数次ページより印刷しておく。（カラー印刷が望ましい）
 ※自然の家で印刷を希望する場合は、料金が発生する。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 全体へプログラムの概要を説明
問題を作成する場所の担当を決める。
- 0:15 地図用紙をもとに、グループごとに担当場所へ行き、問題を考える。
※集合場所・時間を確認しておく。
- 0:45 再度、全体集合し、各グループで作成した問題を共有する。
各グループで作成した問題を用紙に記入する。
問題用紙、地図用紙をもとに施設内を回る。
※集合場所・時間を確認する。
※回る順番は問わない。
- 1:45 集合
答え合わせ
- 2:00 終了

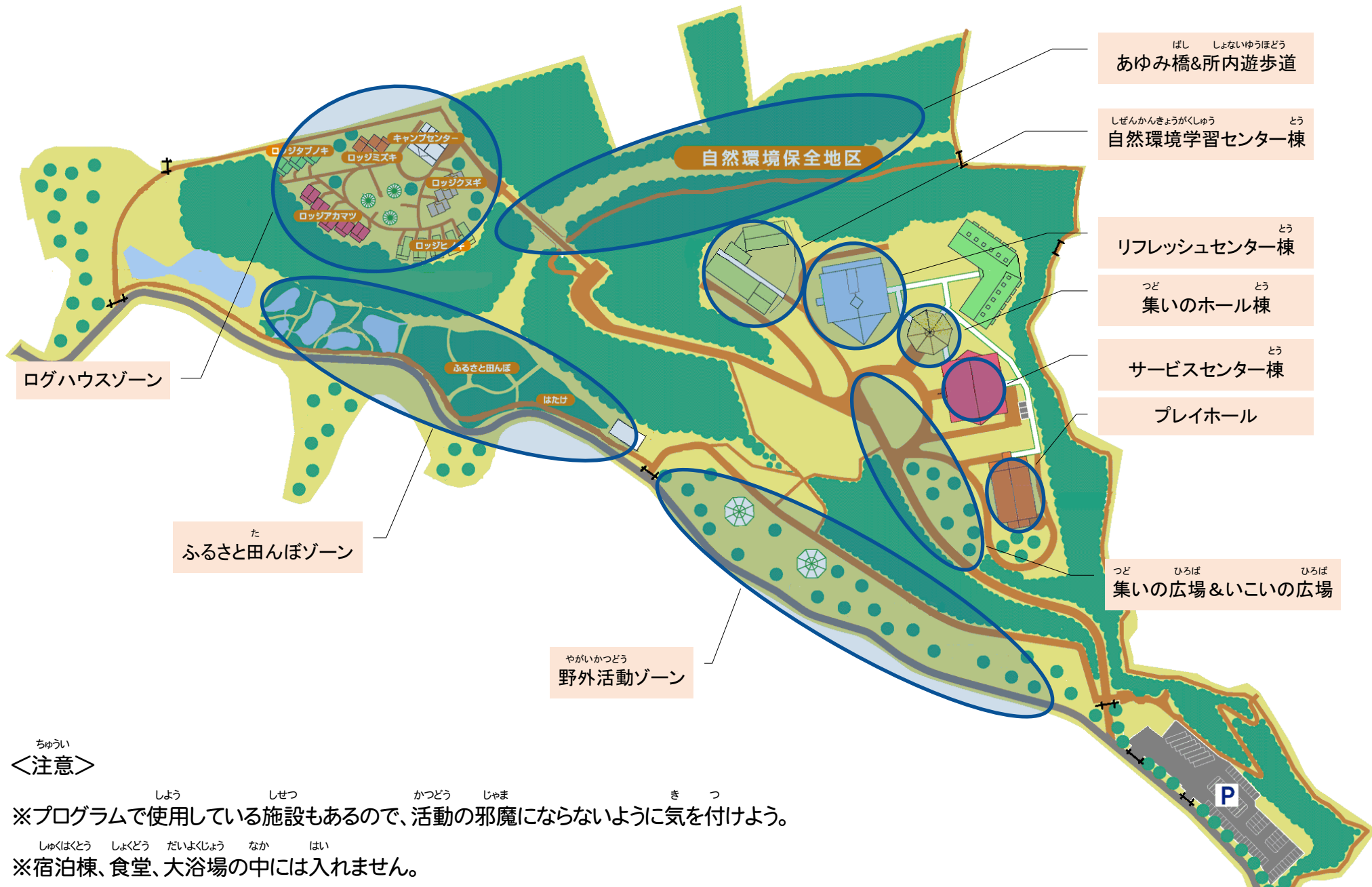


※宿泊棟・食堂（レストラン森の木）・大浴場・シャワー室内には入れません。また、プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。
 ※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底する。
 （別紙 注意が必要な動植物参照）

③後片付け

特になし

じぶん つく ちず
自分たちで作るクイズラリー 【地図】



ちゅうい
＜注意＞

※プログラムで使用している施設もあるので、活動の邪魔にならないように気を付けよう。

※宿泊棟、食堂、大浴場の中には入れません。

自分たちで作るクイズラリー

【問題用紙】

①問題を作る場所の担当を決めよう。

②各グループで担当場所に行って、その場所に関する問題を考えよう。

③全体で集合し、自分たちが作った問題を出し合おう。

④仲間（他のグループ）が作った問題を解きに行こう。

<問題づくりのヒント>

問題例) 集いのホール棟入り口の外階段は何段?

○その場所に行かなければ分からないことを問題にするといいよ。

○時間がたつと動いてしまうもの(生き物など)に関する問題はやめよう。

○道具がなくても答えられる問題にしよう。

	ばしょ 場所	たんとう 担当グループ	もんだい 問題	こた 答え
1	サービスセンター棟			
2	集いのホール棟			
3	リフレッシュセンター棟			
4	自然環境学習センター棟			
5	プレイホール			
6	ログハウスゾーン			
7	野外活動ゾーン			
8	ふるさと田んぼゾーン			
9	集いの広場&いこいの広場			
10	あゆみ橋 & 所内遊歩道			